

留萌ロータリークラブ 会報

2006▶2007
WEEKLY REPORT

会長/中川 勝美 幹事/対馬 健一



率先しよう

2006~2007年度
国際ロータリーのテーマ

No. 2277 第38回 4月25日

プログラム

- 本日
来賓卓話
「アルコールと健康
～元気に長生き・元気に死のう～」
増毛町福祉厚生課 保健指導係 小野 由佳 様
- 次週予定
一休 会一

留萌ロータリークラブ会長テーマ 魅力ある明るく楽しいクラブは、 ロータリーを知り、 会員家族との親睦から										
<table border="0"> <tr> <td>会員誕生日</td> <td>結婚記念日</td> </tr> <tr> <td>4月26日 齋藤 清蔵</td> <td>4月26日 中出 敏彦</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5月3日 立山 一三</td> </tr> <tr> <td>ご夫人誕生日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5月3日 坂井詩呂美</td> <td></td> </tr> </table>	会員誕生日	結婚記念日	4月26日 齋藤 清蔵	4月26日 中出 敏彦		5月3日 立山 一三	ご夫人誕生日		5月3日 坂井詩呂美	
会員誕生日	結婚記念日									
4月26日 齋藤 清蔵	4月26日 中出 敏彦									
	5月3日 立山 一三									
ご夫人誕生日										
5月3日 坂井詩呂美										

出席委員会報告

前例会

会員総数	51名
出免会員	7名
欠席会員	16名
出席率	63.64%

前々回

第35回 4月4日	
欠席会員	14名
メイクアップ	10名
修正出席率	90.91%

例会/毎週水曜 12:15~13:15 留萌産業会館2F

会長報告

- 4月14日にスポンサークラブである旭川西RCの創立50周年記念式典に澤田ガバナー補佐と一緒に出席して参りました。参加人数は200名位で、記念講演は2004年の関西国際大会の大会長だった、お茶の家元千玄室さまの講演は大変素晴らしく、勉強になりました。
- 14日~15日、函館にて開催された地区協議会に参加された関野会長エレクト始め次年度の役員さん大変ご苦労様でした。季節外れの雪にて高速道路が閉鎖になり、大変苦労されたようです。

なりました。メンバーの皆様にご連絡できずお詫びいたします。

- 2) 次週例会は会場が2階から1階ホールに変更になります。

会報受領先

・砂川RC 1814号 ~ 1816号

ゲスト

NPO法人留萌体育協会

るもいスポーツクラブこのゆびとまれ

リーダー 伊端 隆康様

委員会報告

次年度理事会 関野会長エレクト
14日・15日に函館にて開催された地区協議会に羽幌クラブの有沢次年度会長・出口幹事外5名の方々と、沿岸バスにて参加して参りました。

幹事報告

- 1) 第3例会と第4例会のプログラムが変更

留萌クラブは私を始め、山本副幹事、齋藤副会長、鈴木会員、森幹会員、西谷(英)会員が出席して参りました。羽幌クラブ幹事が沿岸バスの社長という事で、経費節減のためとはいえ社長命令で留萌クラブの西谷S A Aが借り出されて、往復の運転をされました。大変ご苦労様でした。

協議会は大型モニターを活用した純粋な勉強会という印象が強いものでした。会議の主な課題は会員増強に関したことで、それに伴う財団の取組み強化や世界的な会員の減少に対しての危機感等が焦点となっているようです。退会防止、会の運営、活動のあり方、財政難、高齢化等どれを取っても解決の妙案は難しく、議論だけが先行している感じでしたが、参加者はロータリアン同士、休憩時間には楽しんでおりました。その中で、クラブ協議会の開催方法が話され、活動状況が全員に見えるように全員での会議にしてはどうかと言う意見が出されました。委員長だけが頑張る事の無い様に工夫してみてくださいという事でした。例会のプログラムに組み込むのも案として考えてみてはという意見もありました。財団一人100ドルの目標も達成して下さいとの要請もありました。その他留萌クラブと同様に他のクラブにもアクトの問題がありました。これについては会員皆様の意見を聞き、解決の糸口を探りたいと思います。

クラブリーダーシッププランは、上記の問題の解決方法として有効と考えるクラブは積極的に採用して下さいとの事でしたが、会員数が少ないクラブ(20名以下)のクラブは検討してみてくださいとの事でした。

函館はやはり食べ物の美味しい所で、羽幌クラブの会員とも懇親を深め、楽しい地区協の旅となりました。10月の年次大会には多くの会員と共に参加する事を願っています。

す。中には30年以上も例会に連続出席した記録の持ち主もいます。それどころかクラブ全員が100回以上も連続出席した記録を持ち続けているクラブもあります。人々の中には、ロータリーの会員であることを人生最高の誇りにしている人もあります。

何故こんなに愛着をもつのでしょうか。それは、人間が人を愛するのと同じ現象なのです。人間があらゆる形式や信条を脱ぎ捨てた時に一番必要になるものは友情です。ロータリアンは政治や宗教で一線を画することはありません。イスラム教徒、仏教徒、キリスト教徒やユダヤ教徒でも仲良く一緒に食事をします。カーストという身分制度が確立しているインドでも、他の国と同様にロータリーは盛んです。ロータリーに改宗ということはありません。議論の余地のある問題に就いては、会員各自に発言権があります。ロータリーの懐は非常に広いものです。従って友好的な人、他人の意見を尊重する人、利己的でない人ならあらゆる種類の人が会員になることが出来ます。

ロータリーは友情という礎石の上に建てられており、「寛容の精神」で団結しています。従ってもし、寛容の精神を失えば各クラブが持っている原子力エネルギーの働きによって、クラブは木っ端微塵に吹っ飛ばすことでしょう。この寛容の精神とは、祖父の一生を支えた魂であり、私の信念も其処に根ざしているのです。

(ロータリーへの道より)



ニコニコBOX

- 地区協議会参加ご苦労様でした 関野会員
- 地区協にてテレホンの件で出席会員にご迷惑をかけました 齋藤会員
- 大変失礼しました 原田S A A



3分間情報

情報委員会 河部委員

「心に残るロータリアンの言葉」

〈ロータリーへの愛着〉 P. ハリス

ロータリアンは所属のクラブに極めて忠実で

前 回	930,000円
今 回	5,000円
累 計	935,000円



プログラム・・・・・・・・

NPO法人留萌体育協会

るもいスポーツクラブこのゆびとまれ

リーダー 伊端 隆康 様

本日は御招きいただき誠にありがとうございます。ロータリーの例会に参加させていただくのは今回が2回目となります。前は4年前の平成15年7月30日で、やはりこの場所でお話をさせていただきました。NPO法人についてのテーマでしたが、法人化までの経緯や活動内容についての説明だったと思います。今回は豊年屋の渡邊さんから「るもいスポーツクラブが出来たんだって。その事について話してほしい」と言われ、体協のPRにもなると思い、お引き受け致しました。

それでは、るもいスポーツクラブが何故出来たのか説明させていただきます。国は平成12年に策定したスポーツ振興基本計画に基づき、全国全てのマチに総合型地域スポーツクラブを作る事を計画しました。その事を推進する事業を日本体育協会に委託し、傘下の北海道体育協会が道内各地でクラブの設置を促進しています。3年前に留萌にもぜひ総合型スポーツクラブを作りませんかとの打診があり、それに乗った訳でございます。では、この総合型地域スポーツクラブって何かと言いますと、簡単にいえば、年齢に関係が無く、誰でも、いつでも、様々な種類のスポーツを楽しめる、または親しめる環境を整備したスポーツクラブという事です。国はスポーツ振興計画で、国民一人ひとりが生涯にわたってスポーツを楽しむことが出来る社会の実現を目指しました。政策の目標としては成人の週1回以上のスポーツ実施率を50%とする。オリンピックのメダル獲得率を高める。

豊かなスポーツライフの実現などを目指し、生涯スポーツ、競技スポーツと学校体育との連携を推進する。の以上3点掲げています。

留萌のスポーツ実施率ですが、全国的には30から40%と言われていますが、散歩、ウォーキングのほか、一定程度体を動かす畑仕事などもこの統計に入っていますのでそこそこの数字になります。留萌の意識調査では回収率54%で、

結果実施率は何と60%に達しました。みなさん健康に気遣い、意識的に運動しているということが分かりました。

このような背景があり、留萌市にも総合型地域スポーツクラブが出来たわけですが、先月16日に設立総会を開き、クラブの名前を「るもいスポーツクラブこのゆびとまれ」といたしました。このクラブでは大きく分けると、スポーツ教室、スポーツ大会、スポーツイベントを開きます。スポーツ教室では小学生対象のジュニアクラブ、高齢者対象のいきいきクラブ、一般社会人対象のリフレッシュクラブがあります。スポーツ大会とイベントは、7月にパークゴルフ大会、9月にマラソン大会を開き、イベントとしては長距離ウォーキングの大遠足と市民登山を計画しています。このほか、留萌市の「健康都市宣言」にタイアップし、健康都市推進事業にも取り組みます。各スポーツクラブの参加料は保険料を差し引くと、1回当りジュニアクラブ100円、いきいきクラブで150円、リフレッシュが233円となっており、大変お安くなっています。ただリフレッシュクラブの登山だけは実費負担となっています。教室の内容ですが、ジュニアクラスは小学校3～6年生と1・2年生の部があり、3～6年生がスポーツ体験塾と位置付け、様々な種目に挑戦してもらいます。ジュニアの最大の特徴として、運動前の15分間「文武両道」と称して、子供達に読み書き計算を体験させます。具体的には漢字の書き取りや俳句や詩の朗読、100マス計算などを行います。いきいきクラブは留萌市と幌糠地区に分かれ開催し、こちらもジュニア同様読み書き計算を行います。教室では主に夏はパークゴルフ、秋以降はレクリエーションを主体に実施します。続いてリフレッシュクラブは、様々なスポーツ体験を通して、体力維持と健康づくりを推進しながら、参加者同士のコミュニケーションを図ろうと実施します。

それでは次に、健康都市宣言推進事業について説明させていただきます。こちらは3つのメニューがあり、体質改善エクササイズ、次にシェイプアップ・ヨガ、そしてウォーキングクラブの設置です。体質改善エクササイズの

第37回 4月18日(水) 天候/晴

目的は、生活習慣病やメタボリックシンドロームの予防にあります。留萌市の保健師さんとタイアップして取組み、体質改善とシェイプアップを促します。5月から12月までの間、隔週金曜日、計12回でいずれも午後1時から2時までスポーツセンターで開催し、講師は札幌市から専門のインストラクターを招き、受講料は3500円となっています。保険料を差し引くと1回あたり166円になります。

体質改善エクササイズではモニターを10名募集しており、一定の条件がありますが受講料が無料になるものがあります。

シェイプアップ・ヨガですが、フィットネスプログラムでバランス能力を高め、理想の体形に近づけるのが目的です。6月から7月にかけて計5回こちら札幌からインストラクターを招きます。受講料は3500円で、保険料を除くと1回当たり400円になります。最後にウォーキングクラブですが、これは19年度のメイン企画がもしれません。留萌市民はウォーキングニーズが極めて高く、アンケートでも多くの方が入会したいとの事でした。ウォーキングクラブは基本は例会で、あらかじめ決められた日に会員皆で決められたコースを歩く事が一般的ですが、ウォーキングの良い所はマイペースで気ままに歩く事ですので、強制は出来ません。計画ではミニ例会と称して、毎週木曜日の朝にマチの中を5kmほど歩き、5月から降雪前までで計25回程度と考えています。悪天候のときは中止となります。通常の例会は10～15kmのウォーキングを行い、こちらは月1回程度、留萌の名所旧跡めぐりなど、小平や増毛まで足を延ばすことも検討しています。このほか全道ウォーキング大会に2回参加する計画です。こちらは5kmから最長35kmまであります。参加者を募り、バスツアーとして参加する予定です。また、万歩計を一括管理して希望者の歩数を計算し、何キロ歩いたかをまとめ、それを励みにさせたいと思います。万歩計の貸し出しは無料の予定です。年会費は2500円(保険料1500円)ミニ例会無料、月例会は500円集める予定で、遠征は実費負担となります。

これらの教室の募集はすでに始まっており、

締め切りは4月23日です。手続きは窓口で申込書に記入し、参加料を添えて提出していただく事になります。肝心な事を忘れていましたが、るもいスポーツクラブの会員になるにはこれまで説明した教室に参加する皆さんが自動的に入会となります。改めて会費は徴収致しません。

会員のメリットですが、会員の皆さんにはスポーツクラブ発行のスタンプカードをお配りします。スタンプが10個貯まると1回タダとか、スポーツセンター一般開放の時には10%安くなるなどを考えております。会員になる方法は教室に参加しなくとも、スポーツクラブの趣旨に賛同される市民であれば会費1000円を払えば会員になれます。ただし大人も子供も同じです。今後色々なメリットを考えています。例えばスポンサーを募集してスポンサーのお店で買い物をすればスタンプをもらえとか、値引きしてもらえとか等、色々研究中です。またスポンサー側のメリットとしては現在研究中ですが例えば、スポーツセンターの階段に広告を掲げたり、大会のプログラムに広告を掲載したり等、教育委員会とも相談をしなければなりません。スポーツセンター窓口でスポンサーのお店の宣伝をするなど色々検討中です。

そろそろ時間となって来ましたので、最後にNPO法人としてスポーツ振興に対する考えを述べさせていただきます。NPO法人としてまる5年、難しい理屈はありません。スポーツセンターなど私達が管理しているスポーツ施設は利用者の立場で使い易い施設を目指します。スポーツ施設は本質的に「楽しいからぜひ参加したい」というメニューをこれからもひたすら追及したいと思います。体育協会の使命はスポーツを楽しむ環境づくりの整備ですのでカッコを付けずに追及していきたいと思います。留萌市とは今回、健康都市宣言推進事業で連携しますが、スポーツ振興や健康づくりは市もNPOも究極の目的は一緒ですので、これからも協働のスタンスで連携できればと考えています。市立病院との連携も現在協議中です。

ぜひ皆さんもさまざまな機会に、さまざまな場面で、このマチのスポーツ振興に対しご支援ご協力をいただけます様宜しくお願いします。